

2023年1月4日

BS12 トウエルビ

(ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社)

2023年 年頭の辞

ワールド・ハイビジョン・チャンネル株式会社 代表取締役社長 須磨直樹による全役職員向け
「2023年 年頭の辞」を下記の通りお知らせ致します。

記

新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返ると、コロナとの共生が板に付いてき始めた矢先に、地政学的リスクが顕在化、エネルギーコスト上昇、円安、物価高など政治経済両面での地盤が激しく揺らぎ、先行きの視界は益々不透明感が増した年だったと言えます。業界では、年末に盛り上がりを見せたW杯で、視聴者に新しい視聴形態が示されたのではないのでしょうか。そのような中、当社では、2021年秋に策定した10年後のあり姿実現に向け、今まで以上に「BS12らしさ」を意識した編成を心がけつつ、デジタル対応としてTVerを展開。放送外でも、2年目に入ったeSports事業では複数チーム体制を開始し、韓国エンタメ情報サイト事業もスタート。さらに、インフルエンサーを活用した事業やゲームコンテンツ事業を本格化させるなど、我々なりの新しい放送局の形を作っていく上での事業基盤を確りと構築できた年と言えます。これも皆さんの新たな領域に飛び込む勇氣と不断の努力の結果だと感謝致します。

今年は、更に視聴者のメディア生活様式の変化が加速していくことは確実で、そのような中で我々自身がメディア企業として、視聴者に対して、クライアントに対して、社会に対して果たすべき役割について突っ込んだ議論が必要で、それが「BS12らしさ」を追求する近道では無いか、と思う次第です。

大切なのは、この混沌とした時代に2つの「目」を確り持つこと。一つは「今を観る目」。今の我々が大きな業界の地図の中でどこにいるのかを独りよがりにならず冷静に見極める目です、そして二つ目は「先を観る目」。この先、世の中はどのようになり、その中で当社がどこに向かうのかという「先を観る目」。その二つの目に加え、「今」と「先」を「つなぐ力」が重要です。「つなぐ力」を高めるには、勇氣をもって挑戦と創造を繰り返し、経験値を積み上げ自分の引き出しを沢山身に付けていくしかありません。「今を観る目」「先を観る目」そして今と先を「つなぐ力」。それを常に意識して欲しいと思います。

昨年1年で我々は、さまざまな取組み・事業を通じていろいろな新しい景色を見てきました。放送事業に、新規事業に、そしてそれを支える様々な業務に尽力された職員の皆さんに、心から感謝と敬意を表し

ます。今年はその新しい景色の中であり姿に向かう新しい「道」を創る時です。BS12 勇者の皆さんと共に、「BS12 らしく、もっと前へ」をテーマにその道を創っていきたいと思っております。そして、それらが会社としても個人としても成長を実感できる一年になることを祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

以 上